

協働のまちづくり協議会（第3回）議事概要

《日 時》 令和元年6月28日（金） 14時30分～
《場 所》 教育委員会 5階会議室
《委 員》 犬塚 裕雅 会長、坂野 喜隆 副会長、杉浦 利彦 委員、
文入 加代子 委員、牧野 昌子 委員、
江藤 政継 委員、門 良英 委員
《傍聴者》 0名

1 開会

2 協働のまちづくり協議会 会長挨拶

3 議題

(1) 平成30年度実施分協働事業・市民活動助成事業 事業成果報告会のふりかえり

- ・事務局より、第2回協働のまちづくり協議会（事業成果報告会）について、報告を行った。
- ・評価コメントについて、前年度同様、委員の名前を伏せた形で団体及び担当課へ送付すること、並びにホームページに掲載することを報告した。
- ・会場アンケートについて、団体及び担当課へ送付すること、並びにホームページに掲載することを報告した。
- ・事業成果報告会について委員より以下のとおり意見があった。

委員：会場アンケートは、団体が外部の意見に目を向ける良い機会となったと思う。また、運営方法に関する意見など、我々審査員としても気づきがあった。

委員：報告会の他に、各団体の代表者や担当者が一同に介して、交流会のようなかたちで意見交換をするのもよいのではないか。自分たちにはないところを見つけたり、他団体良いところを吸収したりできるのではないか

委員：一般参加者からのアンケートを団体にフィードバックできるというのは大きな収穫である。

また、助成団体の交流会をやるならば、事業の中間で行い、事業実施に際して困っていることはありませんか、というふうにするのもよいと思う。

委員：1団体に与えられる報告時間が短いので難しいと思うが、活動している状況を何らかの映像で見たいと思った。

委員：報告会の様子を市ホームページで周知するなど、今やっていることを丁寧に発信していくことも大事だと思う。

会長：各事業目標に向けて何をやって、その結果どういう成果が得られたというような流れを必ず押さえてもらう為に、予めテンプレートを作って、それに沿ったかたちで報告してもらうことも1つのやり方だと思う。

委員：テンプレートの作成には賛成である。各団体の報告書を見ると、こういうことをやりましたというアウトプットは書いてあるが、こういう成果がありましたというアウトカムを書いているところはほとんどない。やはり成果はアウトカムを明確にする必要がある。

委員：10万円の助成金で、各団体、報告も含めここまでしっかりと活動をされていることはすごいと思う。団体のレベルが上がっているというのがわかる。この制度によって新しい世代の市民活動が盛り上がってきているという手ごたえを感じる。

(2) 令和2年度実施分協働事業 第一次選考について

- ・事務局より、協働事業第一次選考の流れを説明した。
- ・協働事業第一次選考（第4回松戸市協働のまちづくり協議会）を非公開で行うことを確認した。

(3) 第7期協働のまちづくり協議会 市民公募委員の選考について

- ・事務局より、審査基準について説明を行った。
- ・松戸市協働のまちづくり協議会公募委員（令和元年9月1日から令和3年8月31日まで）の応募者5名のうち2名の候補者選考審査にかかわる市長からの諮問に対し、履歴書、作文の合計得点を基準にしながら、松戸市附属機関等の設置及び運営に関する指針に基づき、総合的に判断し2名を公募委員候補者として決定し、答申することとした。

(4) その他

- ・第3期まつど地域活躍塾の公開講座の様子と、現時点での応募状況を報告した。

4 閉会